

# 令和6年度 年間教育計画

秋田観光バス株式会社 本社

## 4月【事業用自動車を運転する場合の心構え】

1, バス事業の公共性と重要性、2、バス事故の社会的影響。3, 安全運転の心構え。

**令和6年度のスローガン** 「安全は一人一人の心がけ」

**令和6年度安全目標**

①重大有責事故0件達成。②有責事故0件達成。③乗務前アルコール検知違反0件達成。

④社員全体の無事故、無違反0件達成。⑤従業員の健康管理の徹底と感染予防・拡大防止策。

## 5月【事業用自動車の運行の安全及び、旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項】

1, バス運行に係る法令。

①旅客自動車運送事業に係る法令。②自動車の運転に係る法令。③車両管理に係る規定。

2, 義務を果たさない場合の影響の把握。①運転者に対する刑事処分 ②運転者に対する行政処分

③会社に対する処分。④重大事故を引き起こした場合の罰則及び加害者・被害者心理。

## 6月【事業用自動車の構造上の特性】

事業用自動車の車高、視野、死角、内輪差、制動距離等確認させ、理解させる。

**\*ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転適性に応じた安全運転。**

## 7月【乗車中の旅客の安全を確保するために留意すべき事項】

加速装置、制動装置、かじ取り装置急な操作を行った事により旅客が転倒した等の交通事故の事例  
走行中は旅客を立ち上がらせない事と、シートベルトの着用を徹底させる。

乗車中の旅客安全を確保する為に留意すべき事項。

## 8月【旅客が乗降する時の安全を確保するために留意すべき事項】

乗降口の扉を開閉する装置の、適切な操作する必要性を理解させる。

周囲の道路及び交通の状況に注意して安全な位置に停止させること。

旅客の状況に注意して発車させること等、旅客が降車する時の安全確保する。

## 9月【主として運行する路線若しくは経路又は営業区域における道路及び交通の状況】

乗合バスの運転者にあつて、運行する路線、貸切バスの運転者は運行する経路の道路及び、  
交通の状況を把握させる、「ヒヤリ・ハットの体験」の説明することにより運転者に情報共有。

## 10月【危険予測および回避並びに緊急時における対応方法】

強風、豪雪等の悪天候が運転に与える影響、加速装置、制動装置及びかじ取り装置の急な操作を  
行う事により旅客が転倒する危険、乗降口扉の開閉、右左折時における内輪差、後方視界  
急な進路変更又は、停止に伴う危険等について、危険予知訓練の手方を用いて理解させる。

## 11月【運転者の運転適性に応じた安全運転】

適性診断その他方法により、運転者の運転適性を把握し、個々の運転者に自らの  
運転行動の特性を自覚させる、ストレス等心身の状態に配慮した適切な指導を行う。

## 12月【交通事故に関わる運転者の生理的及び、心理的要因並びにこれらの対処方法】

長時間連続運転等による過労、睡眠不足、医薬品等服用による眠気、飲酒が身体に  
与える影響等の心理的要因及び慣れ、運転技能への過信による集中力の欠如等心理的要因。

## 1月【健康管理の重要性】

疾病が交通事故の要因となるおそれがあることの事例の説明すること等により理解させる。

定期的な健康診断の結果等に基づいて生活習慣の改善を図るなど健康管理を行うことの重要性。

## 2月【安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法】

安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車を運行する場合において  
機能への過信及び誤った使用方法による交通事故要因についての説明こと等により  
当該事業用自動車の適切な運転方法を理解させる。

## 3月【ドライブレコーダーの記録を活用した、ヒヤリハットの体験等の自社内での共有】

**\*ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転適性に応じた安全運転。**